



糖尿病看護

外来 大塚 佳代 12階 宮原 里絵

インスリン ボールとは

いつも同じ部位にインスリンを注射をしていると、注射部位に皮下脂肪が集まった脂肪過形成や、インスリン由来のアミロイド（蛋白質の線維化した物質）により、皮下に硬結（インスリンボール）ができることがあります。

ノボノルディスクファーマ(株) ホームページより引用



「The American Journal of Medicine,」 参照

インスリンボールの部分にインスリンを打っても吸収されず、効果を発揮しません。硬結部位を避けてインスリンを打つと、急に血糖が下がることもあり、注意が必要です。

「自己注射は慣れているから大丈夫！」という
注射歴が長い 患者さんこそ、穿刺部位に硬結（インスリンボール）がないか、実際に触って確認しましょう！



硬結がある場合は、主治医や看護師にお知らせください